

企画展開催に寄せて



鶴岡市長 榎本政規

このたび、「友好都市鶴岡市と江戸川区 学童疎開70周年
「其恵不忘」」が開催されますことを心からお慶び申し上げます。

鶴岡市は、学童疎開を機縁に江戸川区と友好都市の盟約を
締結させていただきました。疎開から70年の節目を迎えた本年、
江戸川区の学童疎開経験者の皆様が盟約記念日である5月25日に本市を訪問され、
鶴岡天神祭のパレードや歓迎・交流の夕べに参加されました。その際、来鶴された皆様
の本市に寄せてくださる思いの深さと温かさを改めて肌で感じ、友好の絆の強さを再認識
いたしました。

幸い、江戸川区と鶴岡市の交流は、教育・文化・スポーツ・福祉・産業・住民生活など、
各分野・各世代に広がりを見せています。両区市の住民が平和を願いながら友好の絆を
後世に末永く伝えていくこと、両区市の交流が一層深まることを願ってやみません。

この企画展をご覧いただいた皆様には、疎開児童たちが過ごした頃と変わらぬ、鶴岡の
雄大な自然と文化に興味を持っていただくとともに、ぜひ鶴岡にお越しいただき、それらを
体感していただきたいと思います。

結びに、江戸川区の益々のご発展と、区民の皆様並びにご来場の皆様のご健勝・ご多幸
をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

学童集団疎開から70周年を迎えて

江戸川区長 多田正見



本区と友好都市の鶴岡市は、現在、多方面において交流が行われております。双方で開催されるまつりへの参加、両都市の市民・区民による交流演奏会の開催、スポーツ・サークル団体の交流など、年々その親睦関係は深まっております。

こうした交流の由縁は、太平洋戦争時の昭和19年(1944年)にまで遡ります。戦火にさらされた東京では、子どもたちを守るために学童集団疎開が実施され、多くの子どもたちが疎開先として鶴岡市に迎えられました。親元を離れ辛く寂しい思いをしている子どもたちを、鶴岡市の人々は我が子のように心温かくお世話してくださいました。そのため、戦後、疎開児童たちはその恩を忘れずに鶴岡市をたびたび訪問し、友好の絆を深めてまいりました。

昭和56年(1981年)5月には、こうした戦後からの交流・友好の輪をさらに広げ、平和の尊さを語り継いでいこうと鶴岡市と本区との間で友好都市盟約が結ばれました。中里喜一前区長が盟約の記念式典で鶴岡市に贈った記念の額には、「其恵不忘」(その恵み忘れず)という文字が記されております。この言葉は、交流の原点である学童疎開への感謝を込めた、江戸川区民の不変の思いであります。

本年は、学童疎開が行われてから70年の節目の年にあたります。今回の企画展示を通じて、多くの方々に、鶴岡市と本区との友情の歴史を振り返り、本区と深い絆で結ばれた鶴岡市を一層身近に感じていただけたら、この上ない喜びであります。永年培われた友情を基に、今後とも、両都市の相互交流が益々深まりますことを心から祈念しております。

江戸川で鶴岡の〈うめもの〉に会える!

鶴岡を楽しめるご近所スポット。みんなで出かけてみませんか。

イベントもりだくさん! ほぼ毎月、鶴岡の味を楽しめます。

鶴岡市は、海の幸にも山の幸にも恵まれた土地です。そんな鶴岡の〈うめもの〉を味わう機会が、江戸川区にはたくさんあります。『寒鰯汁(どんがら汁)』のように、その季節にしか食べられないものもありますから、チャンスをお見逃しなく。



イベントで一番うれしいのは、江戸川区の皆さんの
人柄性に触れられることです。
売場にいると、手を振ってくださったり、声をかけ
てくださったり。
そんな触れあいを積み、これからもがんばります。
鶴岡地区物産協同組合 専任理事 船山善美さん

これからの〈うめもの〉イベントカレンダー(予定)

2014年

- 6月26日(木)~29日(日) 鶴岡市物産市 in しのぎ(しのぎ文化プラザ)
- 7月10日(木)~11日(金) 鶴岡の観光と物産展(東西線西船場駅南口広場)①
- 7月19日(土)~20日(日) 金魚まつり(行船公園)
- 8月24日(日) 納涼だだちゃ豆会(タワーホール船堀)
- 9月 3日(水)~5日(金) グリーンパレス物産市(グリーンパレス)②
- 10月12日(日) 江戸川区民まつり(都立緑島公園)③
- 10月19日(日) 鶴西まつり(鶴西区民館周辺)
- 10月19日(日) 小松川平井ふるさとまつり(小松川小学校周辺)
- 10月23日(木) 鶴岡の観光と物産展(東西線西船場駅南口広場)①
- 10月26日(日) 中央一之江ふるさとまつり(松江第五中学校周辺)
- 11月 2日(日) 北小岩まつり(小岩公園・小岩第三中学校)
- 11月 5日(水) 江戸川「食」文化の祭典(総合文化センター)
- 11月 9日(日) 東部地域まつり(東部区民館周辺)
- 12月 4日(木) 鶴岡の観光と物産展(東西線西船場駅南口広場)①
- 12月16日(火)~18日(木) グリーンパレス物産市(グリーンパレス)②

2015年

- 2月11日(水・祝) 鶴岡寒鰯まつり東京会場(TOKIビル前広場/船堀)④
- 3月 5日(木)~6日(金) 鶴岡の観光と物産展(東西線西船場駅南口広場)①

1 鶴岡の 観光と 物産展

旬の野菜から山形名物
『玉こんにゃく』まで、
鶴岡の特産品がせいぞろい。



2 グリーン パレス 物産市

屋内イベントなので
雨でも安心。
施設のレストランでは
『小松菜パスタ』も販売中。



3 江戸川 区民まつり

鶴岡天神社の『ばけも
の』の衣装を着た人た
ちがお酒やジュースを
ふるまってくれます。
民俗芸能『両所神社獅子舞』を
はじめ、鶴岡の文化にも触れる
ことのできる機会です。

4 鶴岡 寒鰯まつり 東京会場

鰯の身も内臓も骨も
入った鰯料理で、
からだの芯までぽかぽかに。



江戸川区との絆を深めるおてつだい。 鶴岡江戸屋敷。

鶴岡市の東京事務所として、鶴岡についてもっと知ってもらうための活動に取り
組んでいます。たとえば、江戸川区の小学校が行なう米づくり授業への協力、学童
疎開関係をはじめとする、交流団体のサポート。これらも、鶴岡江戸屋敷の大切な
仕事です。



江戸川区と鶴岡市の友好関係がいっそう深
まり、ともに、さらなる発展を遂げられる
ように、事務所職員力を合わせてがんばります。
山形県鶴岡市東京事務所 所長 林 健一さん



〈鶴岡市の文化〉と〈鶴岡市の中の江戸川区〉に出会いに行こう！

中心街エリア

海岸エリア

里山エリア

① 鶴岡公園 庄内藩14万石のお城のまわりには文化財がいっぱい

江戸時代のお城・鶴岡城の跡は、現在、公園として市民に親しまれています。園内には鶴岡市出身の時代小説家、源田南平の記念館もあります。



「サマライ・イベント」開催！
毎年夏に行われる「サマライ・イベント」は、江戸時代をテーマにしたイベントです。お城のまわりには、お城の歴史や文化を学ぶことができます。また、お城のまわりには、お城の歴史や文化を学ぶことができます。

「山王町江鶴亭」は、江戸時代をテーマにしたイベントです。お城のまわりには、お城の歴史や文化を学ぶことができます。また、お城のまわりには、お城の歴史や文化を学ぶことができます。



7月・8月の
鶴岡市
イベント情報

7月 1日(火)	井山山崎
15日(火)	出羽三山神社例大祭「花祭」
26日(土)、27日(日)	清定公祭
26日(土)	南川稲「水場の祭」
8月 2日(土)	あつみ温泉せせらぎの祭
3日(日)	ふししままつり
14日(木)、15日(金)	庄内大祭
16日(土)	赤川花火大会
17日(日)	おひさま祭り
24日(日)	夕陽稲「山戸稲」
31日(日)、9月1日(月)	八重祭

⑥ クラゲドリーム館(鶴岡市立 加茂水族館)

クラゲの展示種類は世界一！
今年の6月1日、リニューアルオープンしたばかり、最大の見どころは世界最大級となる直径約5mのクラゲ大水槽です。



② 山王町江鶴亭

鶴岡市と江戸川区の伝統工芸品や趣味の作品が並ぶ交流センター

2013(平成25)年4月にオープン。鶴岡市出身で、現在、江戸川区に住んでいる方賀新蔵さんが、明治時代の伝統的な商賣を復活して開業しました。



⑤ 龍澤山 善賢寺

1200年の歴史を誇る
海の守り神・電神様の寺

五重塔などの貴重な建築物が多くあります。このお寺も70年前には今般川地区の温泉産業を受け入れていた歴史があります。



※鶴岡市観光案内所に展示されている観光地図を基に作成したものです

③ 湯野浜温泉・湯田川温泉・あつみ温泉

1000年以上の歴史ある名湯ぞろい

鶴岡を代表する3つの温泉地です。70年前、多くの温泉旅館に江戸川区の温泉産業を受け入れていただきました。



④ 新民館

70年間、地元の子どもたちを見守ってきた木造校舎

1903年に完成した「旧大山養正高等小学校校舎」です。お茶や地域のイベントの時期には、校舎の中を見学することができます。お茶や地域のイベントの時期には、校舎の中を見学することができます。



⑦ 庄内映画村資料館

『おしん』『十三人の刺客』など鶴岡が舞台になった映画に出会える

150年前に建てられた質屋を改装した大きな建物の中に、映画で撮影された映画の室内セット(撮影用の部屋)や小道具などを展示しています。



⑧ 横綱柏戸記念館

江戸川区にあった相撲部屋を鶴岡へ移築

第二次大戦後、相撲がもっとも盛り上がった柏戸時代を伝え、鶴岡名産市街でもある第47代横綱柏戸・鶴山殿方をたええる施設です。



⑨ 出羽三山

山の中で修行をする
〈山伏〉がいる神聖な場所

真山、月山、湯殿山をまとめて「出羽三山」と呼びます。12年に一度の真山山王祭にあたる今年、参拝すれば12回参拝するのと同じ効果が得られるとされています。



⑩ スタジオセディック庄内オープンセット

江戸・明治・大正・昭和時代にタイムスリップ

映画やドラマの撮影に使った洋館・民家、温泉地などの野外セット(撮影用の建物や街並み)を見学できます。銀河間平作の映画など、いくつかの名作が撮影されました。





今年の夏休みは、歴史かおる城下町、鶴岡市へ！

歴史や自然を中心に、江戸川区との絆が垣間見られるものなど、鶴岡市の見どころを紹介します。

鶴岡市って、どんなところ？

江戸時代の歴史と文化を今に伝える街

鶴岡市は、江戸時代に庄内藩の城下町としてさかえた街です。
1924(大正13)年には全国で100番目の市になりました。

西には長さ42kmもつづく日本海の海岸線と庄内平野、
東から南には森林地帯が広がるなど、豊かな自然があります。
この自然が、〈だだちゃ豆〉・〈庄内米〉などの特産物や、『出羽三山文化』・『黒川能』など、特色ある文化を生み出してきました。

歴史ある
街並を
散策しよう！



↑大宝館

大正天皇の即位を記念して建てられた、赤いドーム屋根が特徴的な洋風建築。松島風保(坂本五郎)の資料も展示。近くは甲府の戦跡をご覧ください。

←鶴岡カトリック教会天主堂

東北地方最古のロマネスク様式建築。日本で唯一の「黒い聖母像」が収められている。

面積
約1,311km²

(江戸川区は約49km²)

東北最大！

人口
約13万人

(山形県で第2位)

庄内の味を
満喫しに
行こう！



↑だだちゃ豆



↑ぶどう狩り



↑さくらんぼ狩り



→庄内米



雄大な
日本海の夕陽を
見に行こう！

↑夕陽鑑(温海海岸)
日本海の夕日を前に、山形県指定無形民俗文化財「山戸能」が上演される。
毎年8月下旬開催。

東京から行くのに、
どれくらい時間
かかるの？



飛行機

東京国際(羽田)空港 全日空 約60分 庄内空港 山形県 約25分 JR鶴岡駅

電車

上野東京線 JR新幹線 山形本線 JR鶴岡駅
JR東京駅 約120分 JR新幹線 約110分 JR鶴岡駅

車

東京 東北自動車道・山形自動車道 鶴岡 約6時間

教育、スポーツ、ボランティアの現場で進む交流

《教育》

実りある体験学習や特別授業

江戸川区の約30の小学校では、田植体験やJA鶴岡青年部による特別授業等を通して、鶴岡市との交流を積極的に進めています。冬にはウインタースクールで区内の5、6年生が鶴岡市の湯殿山スキー場等でスキーや雪遊びを楽しみます。



鶴岡市提供の苗



はじめての田植えにワクワク



江戸川区立第七福西小学校
ゲストティーチャー
石倉亮彦さん

田植えの授業は今年で17回目です。JA鶴岡提供の苗の紹介とともに必ず言葉練習のお話をして、平和の大切さを伝えています。田植えの時は、子どもたちもみんな目が輝いていますね

《スポーツ》

ターゲットバードゴルフがつなぐ友好の輪 珍プレーで笑いが絶えない交流試合

通常のゴルフに比べて狭い場所で手軽にプレーができ、子どもから熟年者まで安全に楽しめるのがターゲットバードゴルフです。江戸川区ターゲットバードゴルフ協会と鶴岡市ターゲットバードゴルフ協会は、友好都市をきっかけに平成18年から交流を開始、以後隔年で交流試合を開催しています。



両都市代表のマッチプレー



江戸川ターゲットバードゴルフ協会
前会長
上田繁通さん

交流試合では和気あいあいとプレーを楽しんでいます。鶴岡は情の厚い方が多く、試合が終わってからまだまだちや豆を自宅に贈っていただいたり本当に感謝しています

《ボランティア》

人形劇やヒップホップダンス、昔話など ボランティア同士で深める絆

江戸川福祉ボランティア団体協議会と鶴岡市ボランティア団体は2009（平成21）年度より正式に交流がスタート。交互に開催場所を移してフェスティバルへの友情出演するというような交流活動を行なっています。今年は〈2014えどがわボランティアフェスティバル〉に鶴岡市のヒップホップダンスグループ〈Kickin' Dance Fam〉と田川民話の会・あつみ昔話の会代表の三浦牧さんが友情出演します。

※ボランティアフェスティバルは7月13日タワーホール船堀で開催予定



Kickin' Dance Fam



三浦牧さん

私も江戸川区立東小松川国民学校3年生で学童疎開を経験しました。食べ物がなくて、わずかなおかゆしか食べられなかったのがつらかったことと、村の人たちが親切だったことは忘れられません。平和に感謝しながらお互いの友情を深めていきましょう



江戸川福祉ボランティア団体協議会 会長
江戸川区友好団体連絡会 会長
小久保昭行さん



岡市と江戸川区 戦後の交流のあゆみ

学童疎開70周年、感謝の思いを新たに、友情の絆は未来へと続きます。

疎開経験者の友好団体誕生

川の清浄化のための金魚やヒゴイの放流、
地震のお見舞いなどで鶴岡市に恩返し

終戦後、東京に戻った疎開児童のみなさんは、鶴岡の人々の温かい心を忘れず、昭和29年頃からは、かつてお世話になった旅館を個々に訪問するなどの交流が始まりました。学校ごとに山疎会、金峯会、江戸川大山会などの友好団体が結成され、昭和39年には新潟地震で被害を受けた鶴岡市に見舞金を送ったり、昭和49年から3年間にわたって鶴岡市の内川の清浄化のため、ヒゴイや金魚の約7万匹を放流したりしてきました。その後も江戸川区友好団体連絡会の結成や周年行事の開催など、両都市の友情の交流が続いていきました。



学童疎開50周年で市役所本所前に建立した「学童疎開ゆかりの地」の碑



友好都市協約30周年記念式典（2011年）



山疎会会長の杉本清さん



山疎会会長の安藤孝和さん



金峯会会長の平田川茂さん

鶴岡市・江戸川区交流のあゆみ

1941年（昭和16年）12月	太平洋戦争開戦
1944年（昭和19年）8月	第1次学童疎開
9月	第2次学童疎開
1945年（昭和20年）3月	第3次学童疎開
8月	終戦 ポツダム宣言受領
11月	学童疎開児童都内復帰完了
1954年（昭和29年）12月	第三戦西国民学校出身者が結成した「やまづる会（山疎会）」が学童疎開10周年を記念して鶴岡市を訪問
1964年（昭和39年）	新潟地震で被害を受けた鶴岡市に、疎開児童から日本赤十字社を通して見舞金が寄せられる
1974年（昭和49年）8月	山疎会が鶴岡市を訪問し、内川にヒゴイ・金魚15,000尾を放流し、鶴岡市民に金魚3,000尾が贈られる（昭和51年まで継続）
1980年（昭和55年）11月	鶴岡市長が江戸川区長を訪問。鶴岡市と江戸川区が友好都市協約を結ぶことに合意
1981年（昭和56年）5月	江戸川区長率52人が鶴岡市を訪問し、友好都市協約を締結
10月	第4回江戸川区民まつりに鶴岡市長ほか多数参加（以後毎年参加）
1982年（昭和57年）1月	江戸川区立鹿本小学校と鶴岡市立鶴岡第三小学校が姉妹校協定締結
1983年（昭和58年）5月	葛西地区ママさんバレーボールチームが鶴岡市を訪れ親善試合
1990年（平成2年）4月	江戸川区に鶴岡市東京事務所が開設される
1991年（平成3年）3月	江戸川区友好団体連絡会が結成される
5月	鶴岡市で友好都市協約10周年記念式典開催。江戸川区からも疎開関係者などが多数出席
1993年（平成5年）6月	JA鶴岡青年部による小学校特別授業（ラブライスキャンペーン）以後毎年実施
1994年（平成6年）5月	江戸川区学童疎開50周年記念行事開催。『学童疎開ゆかりの地』石碑建立
10月	鶴岡市創設70周年、学童疎開50周年を記念し鶴岡・江戸川交流第九委員会を開催（以後ほぼ毎年交互に開催）
1995年（平成7年）2月	中里区長が鶴岡市の名誉市民に
1996年（平成8年）5月	鶴岡東口タリクラブと江戸川中央口タリクラブが姉妹クラブの協定を締結
1997年（平成9年）3月	鶴岡市中学生選抜卓球チームが江戸川区を訪問。『第20回関東中学生江戸川区招待卓球大会』に参加（以後5年ごとに参加）
2001年（平成13年）5月	友好都市協約20周年記念交流会が鶴岡市致道館で開催される
7月	湯田川に学童疎開記念碑を建立
2004年（平成16年）5月	学童疎開60周年を記念し、疎開児童など約150人が鶴岡市を訪問
8月	青少年の平和大使派遣 疎開60周年を記念し、区の小中学生46名を派遣
2005年（平成17年）4月	学童疎開60周年を記念し、江戸川大山会22人が鶴岡市を訪問
2006年（平成18年）6月	江戸川区のターゲットバードゴルフ団体が皆川杯ターゲットバードゴルフ大会（鶴岡開催）に参加（以後交互に開催）
2011年（平成23年）11月	鶴岡市で友好都市協約30周年記念式典開催。江戸川区からも疎開関係者などが多数出席
2014年（平成26年）5月	学童疎開70周年を記念し、疎開児童など約50人が鶴岡市を訪問

疎開先での勤労奉仕

農家の手伝いに薪ひろい、砂はこびの毎日
小学生にとっては過酷だった石はこび

午前中の授業を終えると午後は勤労奉仕の時間です。山菜等の食事の材料はすべて子どもたちの力で運び、冬に備えて暖房用の薪は山からひろってきて、積などで運びました。なかでも鉄道工事のための石はこびは、小学校の高学年でも辛い作業の一つでした。



勤労奉仕の途中で



薪を運んだ後の道端



手を休める児童



辛かった勤労奉仕の石はこび

疎開地で最初の勤労奉仕が、原河川沿いの石はこびで、地元の生徒と共同作業だった。大柄な者は四人一組で作業場、女の子は機がづくりの籠籠を編み込んで荷を負い、河川敷から鉄道の敷設所まで、ほこんだ。作業の場所は、いくら小学校の高学年でも男が嫌がるかと聞いた。この経験での石はこびは、小学生にとって過酷な作業だった。
*鉄道工事のなかの難所だったと語っている。

江戸川区第二区西葛西小学校
六年 吉野弘



薪ひろい

10月の庄内の朝夕は冷たかった。奥生から「今日は山の山奥に遊びに行く」といわれ、喜んで出かけた。しかし帰りには、学校のストーブで燃やす炭木を担い、約8kmの道を荷負って帰った。たいへんつらい帰り道だった。奥山は6合目まで雪が来ていて大変だった。
*ストーブの燃料は、用意していたがその燃料も雪で凍結していた。

江戸川区第三区西葛西小学校
六年 野口昭夫



砂はこび

勤労奉仕は、砂干し、砂あげなど、農家の手伝いが多かった。そのほか、砂はこびもやった。砂はこびは奥川の河川敷から、海田川温泉まで、その砂は、温泉湯を利用して、モヤシを栽培するためのものだった。砂の入れ物は、風呂敷で縫ったもので砂は少量とはいえ、3〜4kgの砂を背負い、8kmの道のりをこぶことは、きつかった。2年前に疎開へ行った時、この砂は稲の肥料として、農家でも利用されていた。

江戸川区第二区西葛西小学校
六年 神尾佳樹



薪運搬

当時は市内のどこにも燃料不足で、福徳町の薪も不足していた。私たちは、町内会の棟前で、奥川の奥山まで砂をひいて薪を運搬にいった。小学六年生となると、大人並みの仕事が必要なしに回って来た。実際、薪られることは無意味でもなかったし、辛いとはつゆほども思わなかった。

江戸川区第二区西葛西小学校
六年 吉野弘



スカンボ（酸漿）

地元の農村地帯でも、戦争が始まってからは、甘い物はもちろんのこと、おやつなどなかった時代です。

私たちは、地元の子たちに教わり、野道に生えている（スカンボ＝酸漿）に塩をつけ、おやつがわりに食べました。飢餓時代の今の子ども達には理解できないでしょう。しかし、語りつがなければならないと思います。

江戸川・大山会の新年会での談話より



大きなおにぎり

数回単位で、飯あげは、朝に早く入るくらいで嫌な思いをしたが、楽しいこともありました。

帰りかけに、おばさんが大きなおにぎりをくれたことです。白い大きなおにぎりの味は今も忘れられません。

＊飯あげ＝飯の中で干し上げと飯の事を、飯敷内の納屋に奉仕のこと。

江戸川区第三路西国民学校
六年 安藤孝昭



囲炉裏をかこんで鍋舌炒り

荒川温泉の裏山に神社があり、西陣屋敷と境内があり、そこには（いちょう）の大木がありました。

十一月上旬の雪の朝、境内にいくと温泉のあたりで、穴があいていて、鍋舌が落ちていました。

一人で十個程焼い、鉄板に盛り、温泉の湯で鍋舌の皮をむいて干し、母親の叔父さんに持ってもらいました。あの時の味は今も忘れられません。

江戸川区第二松江国民学校
六年 吉田美月

疎開先での食べ物

柿の皮を拾って食べたり、台所にしのびこんだり。
忘れられない白い大きいおにぎりの味

米どころの鶴岡といえども、当時の食糧事情は厳しく、毎日おかゆやおじやが続きました。子どもたちは勤労奉仕でノビルやフキなどの山菜取りに行ったり、栗やどんぐりを拾いに出かけたりしておかずやおやつにしました。それでも空腹に耐えられず、夜中に台所に忍び込んで先生に見つかり、翌日廊下に立たされる子もいました。



全員で「いただきます」



宮内町熊野神社講堂での食事風景



地元の恵みに感謝して



勤労奉仕後に食べるごはんは特別



疎開先から両親に宛てた手紙



おかゆ一杯の貴重な食事



廣安寺の住持、龍溪寺の住持



● 複写機での複製のようす



寝る前のごあいさつ

解開までつらいことといえば、苦痛でした。目はず、首は度々やけどが、唇も腫れにふくらみながらひどく赤い。そんな時、お兄さんと弟等とを思い出し、泣き出すこともありました。父の字は、紙片の数冊があり早く読みたいけれど見ることができませんでした。

ある朝、喉が乾いて胃腸が空しく、一人月の「めかけ」がなくなり、厄払いの神に助けられました。幸いに喉は、気楽なことになりました。二度とこのような苦しいを、再び受けることがありません。

江戶川區第三選區國會議員
監修：田中加津子



腕と刃

後陣中は驚きに陥られました。とくに加の浮太は
旗のものを驚かすにたいへん悩まされました。しかし
洗髪（かんづめ）す会にも花嫁がおりません。
花嫁連には、結婚を祝う歌が一首で、梅田の
ように結婚をしました。
これまで嵐の旗は歌がききましたが、旗すことに
しました。

這戶人家是立起西園寺家
名譽、重振聲望



言語で教える子ども達

言葉を多くのはたいへんでした。さらに、下駄履きの歩行では足・太もも裏くと下駄の間に皮が挟まり、痛めさられて動きが止まりました。泣き出す羽目でした。（転んだとき足の指の皮は剥がれ落ちた）
根元の爪は下駄の奥に食い込んで髪を上手に引っ張り上げていました。ゴム履鞋などは、当時手に入らないうえに高価でした。

注册地址: 第二版注册编号



群のおそろじ

あたりの環境は青木孝（黒内編大）さんでした。お部屋は、広い茶室を仕切って使われていました。昼は涼しいが、暑はたいへん暑くなるので、小さなお部屋に移動されました。

市内の軒屋、狭く言えば世に増え込み、米が貯蔵出来ず、たいへん苦しい季節です。しかし10月末頃には雪に coverage が降り、11月には暖冬が来ることもあって、この様な季節の前線は私たちに来ませんでした。

お家に遊びました私達は、辛いこと、楽しいことがありましたが、食へ間はたいへん過酷です。何の古がたも親切にしてくれ、楽しい思い出が残っています。

臺灣師範大學附屬高級中學
六年級 莊國治代筆



減の額・補填うけながら豊校

湖の保護策に、林道した平野は4kmほど離れた松尾良平町まで通ずる。湖の余の海岸線がながめられる奥山は、景観と調和がよい。しかし、今の「湖の森」の植樹は一貫して、杉木を多くとておらずはない。

一月から二月の間は、シベリアからの雪で、湖の水が凍り上がる。凍るとなると、湖面が乾いてくるので、上流に近づきやすくなる。かんばつで乾燥した

天津出版界聯合會
九年 張野編作



東京に帰りたい

島が筒状山形と断崖の縁で、海岸には有名な弁天様が、佇んだように海面に影を映していました。

私たちも、林修さんなどの塾生も忙しそうです。

海苔に包んで、肉類も詰まっています。「この肉類は素直に包く」と思うと肉類が
入らず、空っぽな海苔が出来ます。結局は包む時、海苔がその旨を伝えるから、ふん
なげて、「早く食べたい」と思っています。

二十二年生、六年生は、卒業のための練習しました。林修さんたちも、三月十日に
卒業があり、江戸川区内へ、ぐんぐん進歩が認められるそうです。

江州刺史第二卷 卷四 卷五 卷六 卷七 卷八 卷九 卷十 卷十一 卷十二 卷十三 卷十四 卷十五 卷十六 卷十七 卷十八 卷十九 卷二十 卷二十一 卷二十二 卷二十三 卷二十四 卷二十五 卷二十六 卷二十七 卷二十八 卷二十九 卷三十 卷三十一 卷三十二 卷三十三 卷三十四 卷三十五 卷三十六 卷三十七 卷三十八 卷三十九 卷四十 卷四十一 卷四十二 卷四十三 卷四十四 卷四十五 卷四十六 卷四十七 卷四十八 卷四十九 卷五十 卷五十一 卷五十二 卷五十三 卷五十四 卷五十五 卷五十六 卷五十七 卷五十八 卷五十九 卷六十 卷六十一 卷六十二 卷六十三 卷六十四 卷六十五 卷六十六 卷六十七 卷六十八 卷六十九 卷七十 卷七十一 卷七十二 卷七十三 卷七十四 卷七十五 卷七十六 卷七十七 卷七十八 卷七十九 卷八十 卷八十一 卷八十二 卷八十三 卷八十四 卷八十五 卷八十六 卷八十七 卷八十八 卷八十九 卷九十 卷九十一 卷九十二 卷九十三 卷九十四 卷九十五 卷九十六 卷九十七 卷九十八 卷九十九 卷一百

疎開先での暮らし

空腹、冬の厳しさ、シラミ、望郷の想い
つらさをじっとこらえた子どもたち

鶴岡の自然は豊かな恵みをもたらす一方、大雪やシベリヤおろしの強風など、雪国ならではの厳しさを子どもたちに教えました。また、当時は日本中でシラミが繁殖しており、防疫対策として頭に殺虫剤のDDTという白い粉をかけてシラミを退治しましたが、なかなか消えませんでした。



みかん園の机で勉強



バリカンも自分たちで



みんなで毎朝一斉に日課の読書時間



熊野神社への参詣



附錄 中國製藥業之發展與國際化 (2013 年 12 月)



真と切り絵でたどる

疎開先の生活

画集「学童疎開があつたころ」には、疎開先での暮らしや情景が趣きあるタッチで描かれています。

疎開先へ出発

不安と期待の入り混じった気持ちで
「お父さん、お母さん、行ってまいります」

昭和19年8月、子どもたちはそれぞれの学校の校庭に集まり、親に別れのあいさつを告げた後、小岩駅、平井駅などから出発しました。上野駅に着き、新潟周りの列車に乗り、はじめての鶴岡を目指しました。心は不安でいっぱいでしたが、鶴岡や各受け入れ先の村では、人々が日の丸片手に総出で歓迎してくれました。



高野浜の学童に向かって行進



現地に着いた荷物をばらぐ



山形・鶴岡へ（上野駅）

私たちは、お父さん・お母さんたちと学校で別れ、上野駅へ向かいました。上野駅は江戸川沿いの生活でいっぱいでした。電車まで、遠征にでもいくように、うろうろしていました。しかし、上野駅を脱走し、安眠が難しくなると、みんな涙しく、悲しく思っていました。

江戸川沿い江東区立学校
六年 平井次郎



学童疎開と建物強制取り壊し

山形に到着する時は、うきうきと喜んでいた。学校で、私たちの地行画を聞いてくれ、林下様、先生に招かれて駅にむかいました。駅で降りて来た。見知らぬ町並み、大層なお母さん、驚かされていました。戦車や戦車隊が通るのに遠慮がせまいためと聞きました。帰しているのは、在野軍人の若しさんたちでした。
（主編者注）在野軍人、戦車として軍に属していない軍人のこと。平井次郎、林下様、高野軍人など。平井は東京についているが、必要に応じて高野とされる箇所を修正。

江戸川沿い江東区立学校
六年 平井次郎



駅前に集合（高野浜）



増元での歓迎式の様子

24校約5100人が 山形県へ集団で疎開



湯野原駅のホームに降り立つ江戸川区の子どもたち

疎開は各家庭ごとに、いなかの親戚や知人などの家に移ることが決まりましたが、いなかのない子どもたちは集団で疎開しました。江戸川区の小学校3～6年生の子どもたちは、山形県に疎開することになり、区内の国民学校24校の約5100人が次々と家庭を離れていきました。疎開先ではお寺や旅館に宿泊し、午前中は勉強、午後は農作業の手伝いや理房用の新運びなど勤労奉仕や生活訓練の日々を過ごしました。

集団疎開を 実施した学校と 疎開先

学校名	学年	人数	疎開先
江戸川区立第一小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第二小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第三小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第四小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第五小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第六小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第七小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第八小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第九小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第十小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第十一小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第十二小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第十三小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第十四小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第十五小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第十六小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第十七小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第十八小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第十九小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第二十小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第二十一小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第二十二小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第二十三小学校	3～6年	100	山形県、湯野原
江戸川区立第二十四小学校	3～6年	100	山形県、湯野原

太平洋戦争と〈学童疎開〉

鶴岡市

集団疎開地一覧



1945（昭和20）年3月10日の東京大空襲では8万人以上の命が奪われました。



学童疎開

江戸川区学童集団疎開
学校別一覧



東京大空襲で焼け野原になった小松川地区のようす

1941（昭和16）年、日本はアメリカなど連合国との太平洋戦争に突入しました。翌年からはアメリカ軍のB-25爆撃機により東京・横浜・名古屋などが攻撃されました。江戸川区も1944（昭和19）年頃に爆弾が落とされ、被害を受けました。こうした空襲から小学生（当時の国民学校初等科）の子どもたちを守るため、政府は個人または集団で地方の安全な地域へ子どもたちを移して、そこで生活させることにしました。これが《学童疎開》です。



友好都市のルーツを探る

友好のはじまりに、太平洋戦争と《学童疎開》がありました。